

# 令和元年度 冬季休業における生徒指導の重点

西部教育事務所

児童生徒が、望ましい生活習慣や学習習慣を身に付け、家族や地域の一員としての実感を持ち、安全で充実した冬休みを過ごすことができるよう、以下のポイントを心がけ、適切な指導・支援に努めましょう。

## ○充実した生活に向けた指導について

- ・ 児童生徒に2学期までの学習や学校行事、生活などについて振り返らせ、**友達同士で認め合えるような場面を設定**し、達成感や充実感を味わわせましょう。
- ・ 冬休み中の学習や家庭でのお手伝いについて計画を立てるなど、**児童生徒が目標をもって生活**ができるような指導を行いましょう。
- ・ **保護者や地域の方と情報交換できる関係**を築き、児童生徒の安全指導の充実や問題行動の未然防止に努めましょう。



## ○SNSトラブルによる被害・加害防止について 『長期休業中は、SNS関係のトラブルが増加』

- ・ SNS等による**個人情報の漏洩や人権侵害などのトラブルの具体的な事例**を示すことにより、インターネット端末（パソコン、携帯ゲーム機、スマートフォンなど）の正しい利用方法の指導を徹底しましょう。
- ・ インターネット端末を**家庭で使用**する際の**ルールづくりの必要性**について、繰り返し保護者への啓発に努めましょう。



※ 参考資料：「おぜのかみさま（群馬県・群馬県警察）」

「インターネットトラブル事例集・インターネットトラブル事例 指導案（総務省）」

## ○不登校等への指導・支援について 『長期休業後は、不登校児童生徒が増加する傾向』

### ＜休業前＞

- ・ 生活アンケートなどから、児童生徒が**学業不振やいじめ、学級や部活動における人間関係の不安や悩みを抱えていないか再確認**し、学校全体で情報を共有して具体的な対応策や役割分担を明確にしましょう。
- ・ 児童生徒が悩みを抱えた時、**自分自身がどのように行動すればよいのか**や、一人で抱え込まずに**助けを求めるにはどうすればよいのか**について考える場面を設定しましょう。

※ 参考資料：「『SOSの出し方に関する教育』プログラム（群馬県教育委員会）」

### ＜休業中＞

- ・ 欠席が続く児童生徒には、家庭訪問などを通して学校の様子を伝えるとともに、**休業中や今後の生活に目標**がもてるような温かな指導や支援に努めましょう。

### ＜休業後＞

- ・ 不登校の兆しが見られたら、「**安心感を与える電話連絡**」と「**早期の家庭訪問**」を意識して、欠席が長期化しないようにしましょう。現在、小学生の不登校が増えており、注意が必要です。

※ 参考資料：「不登校児童生徒の自立へ向けて（群馬県教育委員会）」、「不登校対策資料（西部教育事務所）」

## ○問題行動・交通事故等の未然防止について 『外出時の事故や金銭トラブルが増加』

- ・ 「どこに、どのような危険が潜み、どのように行動したらよいか」など、**身の回りに潜む危険を児童生徒が具体的に予測する場面を設定**し、自らの危機回避能力を高めましょう。
- ・ 万引・飲酒・喫煙・暴力行為・器物損壊は犯罪であることを**小学校低学年から計画的に指導**していきましょう。また、**マナーやルールの重要性**について、児童生徒が**自ら考える場面を設定**し、児童生徒の規範意識を高めましょう。

※ 参考資料：「万引き防止プログラム（群馬県教育委員会）」、「群馬県中学校非行防止プログラム（群馬県教育委員会）」

※ 問題行動や交通事故等が発生した場合には、**正確な情報収集と迅速な対応・報告**に努めましょう。また、関係する学校や警察等の関係機関と連携し、**組織的な対応**に努めましょう。